まち協便り

2026 10

加茂野町まちづくり協議会

かものフェスティバル2026

つながる加茂野の輪・和・WA

９月１２日（土）「かものフェスティバル２０２６」を開催しました。９月に入り毎日のように雨が続いていますが、この日だけは天気に恵まれ、盆踊り、消防音楽隊の演奏、天舞道（あまち）の演舞、加茂野小学校ＰＴＡのお菓子まき、天乳池でのナイトあまち等屋外での活動を予定通り行うことができました。


盆踊り会場

ここで「かものフェスティバル」の趣旨と経緯を紹介します。

加茂野町では、従来、夏の風物詩として自治会長会の盆踊り保存会による「納涼夏祭り」が行われていました。２年続いた台風とコロナ禍により５年間行われませんでした。また、スポーツ大会やレクリェーションなどもすべてが中止となり地域に住む皆さんの貴重な交流の場が失われてきました。まちづくり協議会では、「ナイトあまち」を行い、映画会、読み聞かせ等を合わせて行ってきました。しかし、コロナ禍により中止せざるを得ない状況がありました。

このような状況の中、まちづくり協議会では、「大人も子どもも楽しめて、地域の皆さんの交流の場となるような、とりわけ、加茂野がふるさととなる子ども達にとって将来にわたりよい思い出となるようなイベント」を開催したいと考えました。このことを自治会長会に提案をさせていただき、「ナイトあまち」と「納涼夏祭り」を合体し、「かものフェスティバル」として開催することになりました。

今年は、さらに実行委員会の中でテーマを設けることが話題になり、町内の皆さんが輪になって繋がり、和やかに交流をし、笑顔で過ごせる場となるように「つながる加茂野の輪・和・WA」というテーマが設けられました。



ナイトあまち

当日は、昨年（約３，０００人）以上に多くの方が来場し、大いに賑わいのあるフェスティバルとなりました。

親子で来場された数名の方に感想を聞きました。

「楽しい会で、来てよかったです。」「夏の思い出が親子でできました。」「盆踊りが大好きで参加しました。」「天舞道（あまち）がとてもステキで参加したいです。」「ナイトあまちがとてもきれいで感動しました。」等の感想がかえってきました。

また、中には山之上から参加された方があり、「自治会長会、まちづくり協議会をはじめ各関係機関の協力、工夫を凝らした盆踊り、池の周りの電飾、多くの来場者に驚きました。感動しました。」と感想を話してくださいました。

盆踊り会場、駐車場等の準備と後片付けは自治会長会の皆さん、飲食コーナーとキッチンカーの誘導などは消防団第５分団の皆さん、ナイトあまちは、西中学校と双葉中学校のボランティアの生徒さん、ボーイスカウト美濃加茂第１団、天舞道（あまち）、民生児童委員協議会の皆さん、会場の交通整理、駐車場誘導は交通安全協会美濃加茂支部加茂野分会の皆さん、出店には加茂野小学校ＰＴＡの皆さん、スポーツ少年団の皆さん等、町内の多くの方の支えで開催ができました。また、「ナイトあまち」は市の交付金、盆踊りに関する費用は加茂野町内の自治会会員の皆さんの協力金で開催することができました。ありがとうございました。フェスティバルの様子は、裏面に掲載しています。また、「まち協便り１１月号」でも紹介する予定です。是非、ご覧ください。

まちづくり協議会　会長　髙井　克己

かものフェスティバル 2026



開会式

ボランティア




ナイトあまち準備


消防音楽隊


消防団第５分団


縁　日


天舞道